



讃岐田訓先生の水のお話し

「関西の水を知る 水に学ぶ」

もと神戸大学教授讃岐田訓先生の「関西の水を知る 水に学ぶ」は、関西よつ葉連絡会のひこばえ通信に2003年掲載されたもので、ユーマアたっぷりわかりやすく水道のお話が書かれています。

シミ・ジャー通信「さわやか」に掲載をお願いしたところ快く承諾をいただきました。

先生は長年、水環境の調査や研究に携わり、講演活動やその著書で環境汚染の現状に警鐘をならしています。

今号では5・6回目のお話を掲載します。ぜひ参考にしてください。

讃岐田 訓先生 プロフィール

市民、研究者らで組織する「瀬戸内海汚染総合調査団(1971)」や「琵琶湖淀川汚染総合調査団(1984)」に参加し、赤潮による養殖魚の大量斃死や水道水による発ガンのメカニズムを解明。

2000年の「琵琶湖調査団(2004)」副団長。2004年3月末に神戸大学発達科学部教授を定年退官後、神戸水環境研究所を開く。

著書「遺伝子を撃つ水道水」北斗出版

「日本の水環境 近畿編」

日本水環境学会編、技法堂出版

(編集部注)「遺伝子を撃つ水道水」北斗出版には試験水取水や変異原性調査の苦勞、調べ方、発ガンのしくみなど専門の方に聞かなければわからないお話がたくさん出ています。

関西の水を知る 水に学ぶ

讃岐田訓(神戸水環境研究所)

第5回 朝一番の水道水は飲まないで!

このキャッチコピー、水道局の広報で見た人あります。ほとんどの人はないと思います。このよびかけ、じつは市民が鉛中毒にかかるのを避けるための、きわめて重要な警告なんです。ところが、ほとんどの自治体は、市民がパニックになることを恐れて、ほんとのところを広報していないのが実情です。

鉛は体内で蓄積されますと、おもに神経系が冒されます。慢性中毒です。自律神経系が障害をうけると、激しい腹痛をひき起こすことがあります。鉛せん痛とよばれています。強度の便秘になることもあります。運動神経がやられると、しびれなどがはじまり、手足の筋肉が激しく痛むようになり、ついには無筋力症にいたります。中枢神経を冒されると、初期には頭痛、めまい、不眠が起り、重症になると、こころが錯乱状態におちいたり、てんかん様発作から昏睡にいたるといわれています。胎児や乳幼児の場合、知能障害をひき起こすことが知られています。

朝一番の水は鉛濃度が高い場合があるので。水道本管から住宅への引き込み管に鉛管が以前から使われてきました。ここから溶け出します。水道水はわずかに酸性ですので、金属を溶かします。たとえば、前夜の十一時に蛇口を閉め、翌朝6時に蛇口を開いたとすると、延々と7時間にわたって、鉛管から鉛を溶かし出していることとなります。朝一番の水は鉛のコンクジューズのようになっているわけです。

まだ使われている鉛の引き込み管

WHO(世界保健機構)はこどもの安全性を基準に考え、飲料水の水質指針を0.01mg/L以下と定めています。わが国では、10年前の1993年12月までは非常に甘い基準で、0.1mg/L以下でしたが、そのとき以後、0.05mg/Lに強化し、今年度(注・2003年現在)の4月からはWHOと同じ0.01mg/L以下としました。

旧厚生省は鉛対策として、10ヶ年計画をたて、各家庭での鉛管とりかえ費用に対して、低金利融資をおこなってききましたが、なにしろ数十万円もかかる工事が普通なので、とりかえは遅々として進みませんでした。

1999年現在、まだ鉛管を使用している家庭は852万世帯もあります。そして、これらの家庭の一部を対象にして、朝一番の水の鉛濃度をはかったところ、今年度からの水質基準、0.01mg/Lを越えていたところが38%もあり、基準の10倍を越えたものが3%もあつたそうです。

みなさん、まずは自分とこころの引き込み管の材質を水道局に問い合わせましょう。そして、さしあたっては、朝一番の水は飲まないようにしましょう。



朝一番の水は要注意!

(注)右のイラストと台詞は編集部で入れたものです。